

ろう通訳シンポジウムのご案内（愛媛会場）

1960年代以前、ろう者が通訳を担っていた時期がありました。しかし、いまでは、手話通訳は聴者がするものと思われています。ところが、世界に目を向けると、通訳資格をもつろう者（CDI）が聴の手話通訳者（フィーダー）と連携して通訳する場を広げています。わが国でも、ようやく「ろう通訳」の必要性が認識され、昨年度は、東京、大阪、名古屋の3か所でろう通訳シンポジウムを開催し、今年度から「ろう通訳者養成講座」を開講しました。しかし、大学のように体系だった養成の場はなく、公的な資格制度也没有ありません。今回、「ろう通訳」の必要性について、みんなで考えてみませんか。

*音声日本語への通訳がつきます。

日時：2016年1月24日（日）12:30-16:30（受付12:00～） *昼食をすませてからお越しください

会場：愛媛大学・南加記念ホール（アクセス・地図は裏面をご参照ください）

会費：1,500円（一般）

*事前申込は不要です。当日、会場に直接お越しください。

*NPO法人手話教師センター会員、同サポーター、学生の方は1,000円です。会員証・サポーター証・学生証等を提示してください。

*愛媛大学の学生は無料です。（受付にて愛媛大学の学生証を提示してください。）

定員：230名

基調講演

「ろう通訳者の将来を考える」

野口岳史

国立障害者リハビリテーション
センター学院 手話通訳学科
教官
NHK手話ニュースキャスター
ろう通訳者



「海外のろう通訳者を見て思ったこと
／日本に提言・期待したいこと」

相良啓子
国立民族学博物館 プロジェクト研究員



「CITやWASLI等にもみるろう通訳者
とフィーダーについて」

前川和美
関西学院大学 非常勤講師



「ろう通訳訓練生を
通して考えたこと」

馬場博史
関西学院大学
非常勤講師



「non-Deaf interpreter（聴の手話通
訳者）の立場から」

飯泉菜穂子
世田谷福祉専門学校手話通訳学科 学科長
元NHK手話ニュースキャスター
手話通訳士



*CDI: Certified Deaf Interpreter；通訳資格のあるろう通訳者（ろう通訳士）

*CIT: Conference of Interpreter Trainers；手話通訳養成者会議（米国）

*WASLI: World Association of Sign Interpreter；世界手話通訳者協会

特定非営利活動法人 手話教師センター

協力 愛媛大学 教育学部 特別支援教育講座
愛媛大学 バリアフリー推進室

Supported by  THE NIPPON
財団 FOUNDATION

アクセス情報



松山空港からJR松山駅、松山市駅まで

伊予鉄バスをご利用の場合

JR松山駅まで: 空港リムジンバス「JR松山駅前」下車

松山市駅まで: 空港リムジンバス「松山市駅」下車

JR松山駅から

伊予鉄道市内電車をご利用の場合 環状線(古町方面行き)「赤十字病院前」下車, 北へ徒歩約2~5分

伊予鉄バスをご利用の場合 東西線「愛媛大学前」下車(大学本部へは「護国神社前」下車)

松山市駅から

伊予鉄道市内電車をご利用の場合 環状線(大街道方面行き)「赤十字病院前」下車, 北へ徒歩約2~5分



愛媛大学 南加記念ホール

正門から入って右手にあります

会場内での飲食は不可です。

学内の駐車場は利用できません。公共交通機関でお越しください。
特別な事情(車椅子ユーザー等)がある方は事前に下記までご連絡ください。

■ろう通訳シンポジウム全般に関する問い合わせ

特定非営利活動法人手話教師センター
メール haken@jsltc.org
Fax : 03-4579-0518